昭和廿一年六月一日 第三種郵便物認可
昭和二十一年十二月五日 夕刊 いわき民報 (木曜日) 第百九十一號
いわき民報
發行所 いわき民報社
編輯兼印刷發行人 千葉克己
日刊(但月曜日を除く) 定價一ヶ月五円 一部二十錢

殊動に輝く常磐炭礦
驚異的な增炭記錄を樹立

常磐地區の十一月の出炭は增加割當の增加と初旬の不振に依り懸念されたが食糧の增配と各礦の出炭意欲の向上に依る公休返上、坑外應援等に依り目標額を遙かに突破石炭石城の名を高らかに高揚した、目標二十一萬四千五百噸に對し二十二万六千八十二噸、一万一千五百八十二噸超過といふ驚異的な出炭成績を示したが各礦別に見ると特に東北の常磐炭礦の一萬噸超過が光つてゐる、之は同礦の二日乃至三日の公休返上へ坑外者の應援隊結成等に依るもので湯本坑六千六百噸、內鄕坑一千三百噸磐崎坑二千一百噸計一萬噸の實績が物を言つてゐる、區域別に見ると

▼東北 大炭礦は概ね超過で矢川坑が選炭場の移動、運搬の低下で一千七百八十噸の減少と小川礦の坑內條件の不利に依る百六十二噸の減炭の他超過で合計十四万五千二百四十九噸で一萬五千百四十九噸超炭

▼東部 は大日本礦原坑の一千十三噸、常磐の九百十七噸超過が特に目立ち減炭は先月來の落磐に依る重內坑の八百八噸、坑木不足と坑內自然發火に依る關本坑の八十九噸のみで合計六萬九千九百三噸で一千五百三噸の超過となつてゐる

尙三、四の止むを得ざる減炭礦を除いて總体的に各礦の增産意欲は最低賃金制の確立と併行し向上した事は注目される

一萬噸の出炭超過
十一月下旬の常磐地區

當磐地區の十一月下旬の出炭は物凄い超過ぶりを見せ、目標七万四千百二噸に對し一万噸超過の八万四千二百十七噸といふ好調で十一月の出炭割當を遙かに突破した

東北六万一千七百噸超過七千七百噸、東部二万二千五百十七噸、超過二千四百十七噸

供出協議會

平市の食糧對策委員會では六日午前十時から日本間に委員會を

野菜出荷の世話人會を

冬野菜の確保に

平市では冬野菜確保に備へて六日午后一時から市公會堂日本間に青果物出荷世話人會を開き、青果物出荷促進をはじめ種々對策を練る

市の戰災復興
―整理施行地區決定
區域內の方々は御注意を

市の戰災復興土地區劃整理區域のうち左の區域が整理施行地區として告示された、地區內の土地につき登記の所有權以外の權利用者は一ヶ月以內に土地所有權者と連署するか、又は權利を證明する書類を添えて權利の種別及びその目的たる土地の所在を所管の戰災復興事務所備付の申告用紙に記載して整理施行者である縣知事に屆出でなければならない、無登記の權利者が以上の屆出でを怠つた場合は換地にその權利を指定して貰うこと、補償金を受けることと及び土地區劃整理委員を選擧すること等の權利を失うから注意を要する

佃町、小太郎町、堂根町、堂子町、堂の前、材木町、研町、仲町、十五町目、三町目の全部、長橋町、研町裏、古鍛冶町、紺屋町、田町、白銀町、番匠町、大工町、五町目、南町、四町目、大町、新川町、月見町、尼子町の各一部

市吏員連も職組を結成

平市役所では高騰する物價高と吏員の生活保護の爲四日午后四時半から公會堂日本間で同所吏員の職員組合結成について協議した

小口金融
電話一六〇
湯本 青柳

引揚者大會
十日先づ平市で

冬を迎へて引揚者の悩みは深刻そのものであるが引揚者磐城聯盟では十日平市を皮切りに四倉、勿來、小名濱、江名、湯本、內鄕の各町村で引揚者大會を開き越冬物資配給對策を練る

郡下の供米
漸く一〇%に

郡下の供米は既報の如く軌道に乘つて四日現在で一萬四千余俵を供出一〇%に達した、今月中旬を期して全町村の對抗供米絵卷がくり擴げられる

度量衡係
勸業課へ

平市役所では戰後の生産停頓に依る配給物資の適正を計る爲從來配給課にあつた度量衡係を勸業課に移し獨立体として度量衡の適正強化を計ることとなつた

引揚者へ
梅干寄贈

引揚者磐城聯盟では市內鍛冶町婦人部から梅干一樽の寄贈があつたので五日午前十時から午后二時迄の間市役所同聯盟內で引揚者に無償で梅干の配給を行ふ

川前の火事
原因子供の弄火

三日午前十時頃川前村大字石井機田中周兵さん(四六)方から發火、平屋建居宅一棟を全燒、同三十分頃鎭火した原因は子供の火遊び

警察官を裝ふ
詐欺漢遂に御用
判つた被害だけでも五萬圓

大野村玉山無職山野邊武正(三二)は去月十日久ノ濱町下町製鹽業坂本稔氏(四二)から警察官を裝つて石炭を斡旋してやると巧みに持ちかけて現金九千圓を詐取、遊興に費消したのを手始めに、平市平窪農坂本久光氏方から米二斗、茨城縣平潟町小野義久方から衣類數点をその他郡下各地を股にかけて十數軒を荒して諸物品や現金等で五万余を騙取した外常に警察官用の帽子を小脇にかゝへて平市南町その他各地の飲食店や料理店を新に轉任して來た警察官の如くに振舞つて荒してゐたが遂に三日平署に檢擧された、目下追及中だが被害は更らに多額に上るものとみられてゐる

草野健保
議員決る

草野村國民健保組合議員選擧は三日執行したが當選者は左の通り

坂本惣次郎、大場音次郎、渡邊喜作、坂本準市、会賀彦吉、篠崎秋保、久田中男、中野鴨七、新妻平松、坂井茂助、芳賀幸藏、鈴木初藏、渡邊寅松、渡邊房之助、大木正男

公選前に完遂
供米督勵に拍車

石城地方事務所では渡邊新所長を迎いて二日午前九時から初の所員會議を開き、供米督勵その他について協議した郡の供米は依然低滯をつゞけて居り、町村長の公選をまへになにがなんでも完遂を全郡民に拍車をかけるんとに決した

性病科
內科
平市鎌田町
電八二八番
矢吹醫院

ツベルクリン
注射一齊實施

市衞生課では結核豫防の萬全を期するため四日午后一時から三時迄第二國民學校に十一歳から二十二歳迄の男女のツベルクリンの反應注射を實施した、尙反應檢査は六日に行ふ

ウオーナーブラザースが
贈るアメリカ映畫の
ベスト1
情熱の航路の名優
ベティ・デーヴィス
ポール・ルカスの
息づまる白熱的
演技の精華
ラインの監視

3日 正午開映 晝夜通し 9日

內鄕
第二イワキ
電話十二番

洋畫パレード
24日より
アルベールプレジャンの
商船テナシチ
ダニエルダリウの
禁男の家
◇乞御期待◇

いわき寸言

▼常磐炭礦の各坑の驚異的出炭により十一月の出炭は見事割當を一万一千噸から超過する▼流石は大炭礦の底力を遺憾なく發揮したものとして敬意を表すると共に深く感謝する▼警察官の帽子を小脇にした詐欺漢捕はる、ひつかゝる方もかゝる方、慾の皮と道連れの影とあきらむべし▼鍛冶町の婦人部、引揚者へ梅干一樽を寄贈、ものやその量よりも温い心が嬉しい▼川前の火災原因子供の火遊びとある、火遊びが火災の統計上少くない点を考へ、親御さん連の注意を望みたい、いよいよ火災の季節となつた、火の御用心

工員募集
配管工 一名
鍛冶工 一名
製鹽工 一〇名
右急募す
希望者は履歷書持參
本人來談の事
日東紡績株式會社
四倉工場
石城郡四倉町
電話一六九番

懸賞圖案募集
平釣びと會々員用バッヂ
賞金 一等 百圓
二等 五十圓
〆切期日十二月十五日
送付先
平市南町四一(古川有限會社內)
平釣びと會事務所宛

麻雀
一萬(イーワン)
平一丁目樂館裏

五男六郎儀 昨年七月南支に於て戰死致候處今般遺骨到着仕り候間十二月五日午後一時より自宅に於て告別式相營み可申候間此段御通知申上候

昭和二十一年十二月三日

石城郡草野村大字泉崎字京塚一四

父 猪狩金之助
猪狩仁三
猪狩四郎

長男一儀 昭和二十一年四月十五日上海陸軍病院に於て戰病死致候處今般遺骨到着仕候間十二月六日午後一時自宅に於て告別式相營み可申候間此段御通知申上候

昭和二十一年十二月四日

平市字久保町四〇

母 永山ブ
永山敏正
外親戚一同

長男弘一儀 昨年三月二十日中支武昌陸軍病院に於て戰病死致し候處本月三日遺骨歸還仕り候に就ては十二月七日午後二時湯本町惣善寺に於て葬儀執行致す可く候間生前の御厚誼を拝謝し此段御通知申上候

昭和二十一年十二月四日

湯本町

父 山崎武賴
友人總代 渡邊長作

大きく浮び上る授産場
失業救濟にいよ／＼活用さる

新圓切替へも物の生産面がこれに伴はぬため、昨今復又インフレ逆行の様相を現實化するに至つたゝめ憂慮の的となつてゐた失業問題も漸く深刻化して來た、平勤勞署でもこれがため先般山崎與三郎氏を會長に〃失業對策協議會〃を結成したが、これと相關聯せしめて平市を始め郡下の授産場が今年度から内務省所管から、厚生省所管に移つて直接の監督權が勤勞署へ市町村の手から移つたのを機に、この授産場をも擴充强化し失業救濟面に大きく浮び上らせることに決定、各方面から大きな期待をかけられてゐる

一般に門戸開放
諸施設も極力擴充强化

郡下の市町村經營の授産場は市を始めに四倉、内郷、湯本の四ケ市町村に設置見てゐるがの中湯本町は先般廢止されため、現在三ケ所あるばかり、勤勞署の案は三ケ所とも從來はその誕生の性質から、收容者は軍人の遺族並に家族に限定してゐたが今後は設備を始め諸施設も根本的に强化擴充して、一般業者にも門戸を開放どし／＼收容して救濟に當らんとするものである、尚衣類更生、製作が現在は主体とされて居り諸施設もこれを對照としてなされてゐるので差當りは、婦人失業者及び失業者の家族收容を目指するがゆく／＼は男子失業者の收容をもなし得るやうに改善することにもなつてゐる

平市以外は閉鎖同様
市町村經營の授産場の現況

三授産場の現在の設備は次の如くで、完全にその機能を發してゐるものは平市のみである

▼平市　收容現人員五九名動力ミシン六臺、足踏ミシン六四臺、穴かゞり機一臺、作業内容は衣服類の調製並に更生等

▼内郷町　足踏ミシン二〇臺收容人員四名、作業内容軍用衣服調製

▼四倉町　足踏ミシン一〇臺作業内容軍用衣服調製

尚終戰後平市を除いては殆んど閉鎖も同樣の狀態で殊に内郷町の如き二十臺のミシン中破損したまゝのものが十六臺もあり、現に使用し得るのは僅か四臺といつた有樣とある

各種ミシンの販賣と修理
平警察署通り
三浦商會ミシン部
電八六四番

期待の的平授産場
十余萬圓での新増築決定

平市の授産場は終戰後逸早く軍用衣服の調製を打切り、一般配給用衣服類の調製に肩替りすると共に市民の衣服更生にも一役買つて出る一面今度は學童用の雜記帳の製作に乘り出して居り、さらに今後は見返り品として大きな役割を果すべき使命を課せられた時計の組立て等にまで手を伸ばすことに内定、諸準備を急いでゐる上十萬余圓[illegible]築擴充計劃も成立され[illegible]で、結局多[illegible]役割を果すに至るのに[illegible]に較べて早いものとみられてゐる

新民生委員（2）
郡下全町村の人選決定

▼湯本町（三十名）佐藤德兵衛、楢正隆、森文雄、阿部喜佐松、三森澤吉、山崎武賴、大内一義、槇野正義、佐藤正二、馬目隆義、深澤正、高木勝治、片寄金作、鈴木良作、吉田行雄、酒崎孝男、登島泰隆、佐伯政雄、國井源平、野口宗市、鈴木康、渡邊長作、[illegible]藤政雄、永井戸庄松、比佐倉之助、鈴木ノブ、若松カン、[illegible]ロリウ、井上純、成田瀧美

▼内郷町（四十五名）赤土留榮、小松多喜、庄司平三郎、平野輸齊藤秀樹、午久信二郎、田口浮三、草野泰一、遠藤萬四郎、若松利重、吉田伊三郎、柳沼新五郎、大野勉、松崎靜枝、藥谷茂作、蒲井ナカ、阿部マツノ、森河江梅吉、長谷部利重、山崎喜一、鯛羽金海、野木泰一、松本大、草野稚一、野田辰次郎、野木力、山崎辰立、鈴木喜政、鈴木義夫、小野伸藏、飯沼ちい、大越重二、足立ツナ、永山貴、大橋良勝、高本一、箭野師夫、國谷龍廣、松本信一、高本榮三郎、坪井文策、安齋アサ、小島井、佐藤三平、高本平作

▼好間村（二〇名）鈴木喜久彌、大平忠孝、赤津孝三、西連寺勇齋藤好一、鈴本重行、本田辰[illegible]鈴本榮一、鮫島貞雄、小野藤[illegible]郎、荒川松義、大谷喜重、山本牧治、九里一、熊谷武廣、八島政市、遠藤章、工藤正太郎、木部雩枝、明智ハマ

▼赤井村（二〇名）小野三與登、渡邊良重、佐藤宥光、庄子千代阿地義隆、根本フジ子、小林忠男、高本ツナヨ、船卷太郎、鈴本貫、吉田万吉、藪谷武雄、大平藤男、平澤万一、鎌倉理、田久重雄、西脇新一郎、太田良一若松時司、市原三三男

▼永戸村（九名）合津淸一、合津光男、荻野久藏、佐藤壽麿、阿部浪之助、藤谷新太郎、遠藤近夫、高野吉丸、高萩安吉

▼澤渡村（一〇名）阿部巖、草野幹雄、佐藤淸司、草野政司、石川政樹、大竹治右衛門、佐藤金彌、永山繁義、長谷長一、内藤右京

▼神谷村（五名）志賀忠五郎、佐藤長諦、片寄伊之次郎、本村新平、本村義孝

▼草野村（七名）坂本惣次郎、鈴本駒之助、粥塚富次郎、大平芳渡邊盛之助、飯島セン、坂本キミヨ

▼大浦村（十名）阿部崇順、飯島巳長、吉田久衛、赤塚隆平、佐本茂平、山内政雄、根本忠孝、鯉淵美秋、中西奈英、高木搭平

▼四倉町（十五名）鈴本イト、鈴木藤德三、鈴本淸治、酒井忠ム、花澤賢正、長谷川長太郎、鈴木孝次郎、新妻齊次、長谷川平八吉田彌十郎、片寄ハル、佐藤喜義、中野ウタ、佐藤泰次郎、菊田カネ

▼大野村（九名）吉田秀藏、西山田直次、源喜助、高木政隆、直野鹿平、木村喜多治、高木惣平、秋原義雄、三好致順

▼小川村（八名）藤本周榮、佐藤茂、乘本三男也、田久喜一、吉田直之助、吉田市佐、松本松哉、西山澤治

▼川前村（五名）永山德彌、大平喜一、猪狩春一、白土勝衛、吉田武雄

不衛生極まる
農村兒童
シラミ驅除から見る

一日から二十日迄實施された郡内國民學校の女生徒に對する頭髮シラミ驅除に於ける成績を見ると三回目で大体死[illegible]するかに分つたがDDTの割當[illegible]が少い爲全員に徹底的に消毒出來ないので困つてゐる、この結果よりして平市と各町村と比較して平市内の四校の平均シラミ保有者が初等科、高等科を通じて七十二%に對し各町村は九十五%を示しなかんづく農村校は何れも百%といふ狀態で新圓と物資の偏重を云々され農村文化の民主化を叫ばれてゐる際にこの實狀は文化水準の低さを如實に示してゐるものであり單なる不衛生の事實としてでなく關係者を憂慮させてゐる

萬年筆大量入荷
西[illegible]店
平三　電三九九

開放

投書を歡迎す
建設批判的[illegible]
紙上可匿名

中學生と自由
——平中青二氏へ——

▼貴紙上十二月一日附大道異變を拜讀さして致きまして、中學生として二三感じたことを述べさせて頂きます

▼湯本高女の体操のプラン、生徒が自主的に興味をもつて行つてゐるとの事、非常によいことですね。勉學と運動は違ふとおつしやればそれまでゞすが、僕等の學校には、英語會、數學會等々があつて、それらは皆生徒の自由自主的な研究發表機關です

▼湯本高女と云はずに、總べて學校を見學させて頂き、見聞を擴め大いに長所を取入れたいと思つて居ます

▼現在の男學生、記事中「近頃の男子の學校は」確かに「自由をはき違へ」てゐます。然し、それが「總べては男學生」。「總べての男學生」ではないと云ふことを銘記して下さい

▼「どの學科の授業を受けるかも自由にせよ」と云ふ樣なのは美辭をもてあそぶ小數の不賢人でせう。中等學生でそんなことを言ふのは、傳染性熱病患者です。彼の言を以て、直に現在男學生氣質とするのはゆきすぎではないでせうか

▼「生意氣な先生には泥水を飲ませろ」——生徒として此の世には存在出來ないでせう、こんなことを言つたならば。貴記事最後の「振子云々」は恐らく中等學生を眞面目に批判するに於て使用すべき言葉でせうか。これよりももつとひどい、極端な淫辭をもてあそび生徒の機嫌をとらんとつとめる先生がいらつしやると思ふと、殘念で致し方がありません。會合などで、ャヂを飛ばす中學生の多いことには驚きました。僕等下級生では「そんな馬鹿らしいことは止めなさい」とは中々言ひ難いし又なぜならば、ャヂを飛ばす人は大抵四、五年の方ですから革命の附加條件としての、反動、破壞的行爲は中々除去しにくいのです。

後段の『武器云[illegible]學生から見れば[illegible]てお[illegible]られるお兄さん[illegible]ん方でないでせうか[illegible]とかラヂオ放送停止[illegible]を送らないとか、ひい[illegible]等の一番頼みにしてゐた[illegible]までが「すとらいき」[illegible]やつて、自習時間が[illegible]あるか知れません。勉[illegible]と思つて教科書をよく[illegible]なくなります。國内の現狀をよ[illegible]すと淚が出て來ます[illegible]もつと／＼[illegible]日に[illegible]し、助け合つて行か[illegible]ませんか。（磐中三年　賀[illegible]）

灰皿

▼……營團では飯米の代替として一人二ケ月當りの甘藷をさきに配給したが、貫五圓のおさつを四圓で配給したとて最近差額請求に大童となつているといふ

▼……消費者Aの話！いまころになつて差額請求とは怪しからん、營團ではこれを機に一儲けする氣か

▼……同Bの話！この[illegible]出のはげしい時、いまころまで氣がつかなかつたとは——それにして

いわき俳壇

佐波古句會

遠藤[illegible]山子
春めくや飾り替えたる喫茶店
大和田背一路
花蕎麥のほのかに白し星月夜
木田花堂
夜鍋して夜業の吾を母待てり
伊藤一風
[illegible]らの見えがくれつゝ稻の秋
遠藤[illegible]女
秋光をそびらに受けて畑を打つ
早川月鈴子
降る霧や山より暮るゝ輪王寺
加藤愁星
明るくて雨降る朝や茸汁

豊洋
ぽつつりと雨だれ[illegible]二つ
下川八十
秋燈下讀書の妻の黒き[illegible]
宗形宗川
稻刈や留守居は耳の遠き婆
赤石澤占雄
夜なべする婆のアクビに更ふける

斷裁科生徒募集
婦人子供服裁斷法（期間）三ケ月
入學日　十二月八日
受付　十二月五日より
平市古鍛冶町松堂院
シスター洋裁研究所
東京ドレスメーカー女學院出身　今井榮子

保健告知板（[illegible]）
冬期の疾病豫防（感冒、肺炎、シモヤケ、ヒビ、神經[illegible]）には
◈ビタミンAD
◈ビタミンCB12內服
◈カルシウム劑　注射藥
◈皮膚[illegible]防藥
◈ヨード温泉素（いそだま）
殊に夏期ヒゼン、カイン[illegible]病に感染せられた方は体質[illegible]に御留意下さい
右家庭衛生資材の御用命は
日本健民厚生協會指定
あこう藥局
平市田町銀座通　電話四十四番

トロリー式機
パーマネント
平市田町銀座通り
メイ美容室
◎メイ化粧品部。
▽經驗者未經驗者若干名急募△